

地域振興県土警察常任委員会資料

(令和元年6月26日)

1 第2回鳥取港長期構想検討委員会の開催について

【空港港湾課】……1ページ

県土整備部

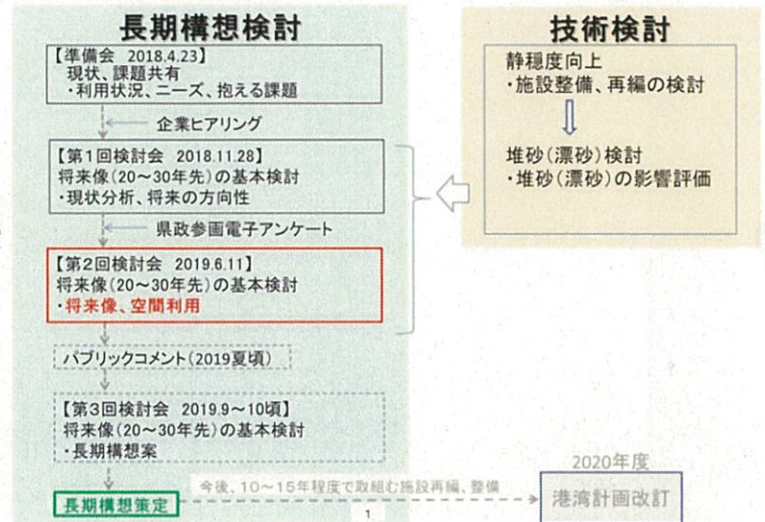
第2回鳥取港長期構想検討委員会の開催について

令和元年6月26日
空港港湾課

鳥取港の令和2年度の港湾計画改訂に向けて、20～30年先の物流・人流など総合的な港湾の将来像や空間の利活用をとりまとめ、長期構想を策定するため、学識経験者、物流関係者、地元関係者、関係行政機関による第2回鳥取港長期構想検討委員会を開催したので報告します。

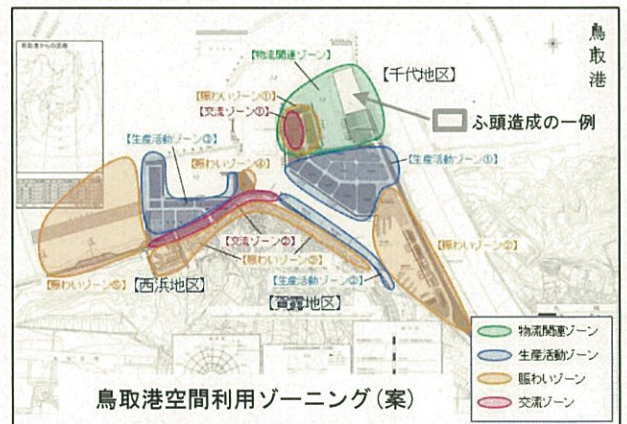
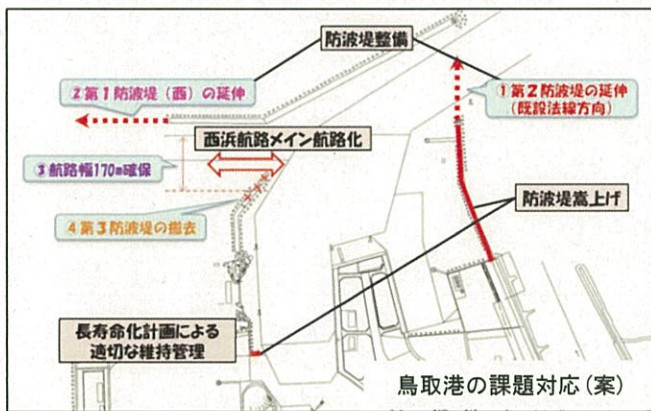
- 1 日時：令和元年6月11日（火）
13：30～15：30
- 2 場所：鳥取県庁第2庁舎 第22会議室
- 3 委員：須野原 豊 日本港湾協会理事長
 梶見 吉晴 鳥取大学学長顧問
 馬場 芳 鳥取大学准教授
 深田 幸孝 日本通運(株)鳥取支店長
 石畑 美幸 (株)富士ユニコン取締役
 広坂 寿子 小型船婦人部会長
 羽場 恭一 鳥取市副市長
 岸 睦 賀露公民館主事、外4名

4 内容：
第1回鳥取港長期構想検討委員会での意見、抽出課題とその対応案、背後企業ヒアリング、各種アンケートの結果を踏まえたハード、ソフト面からの鳥取港の将来像、空間利用について討議しました。



(1) 鳥取港の抽出課題とその対応案

抽出課題	対応案
・ 通年の冬期風浪による堆砂 ・ 大型台風、H30 豪雨災害による航路埋塞、泊地埋塞	・ 西浜航路のメイン航路化
・ 港内の静穏度の悪化、漂流物の侵入	・ 防波堤整備と嵩上げ
・ 船舶の大型化、取扱貨物の増加と多様化	・ 新たな岸壁整備
・ 取扱貨物の増加と多様化、新規取扱貨物の対応	・ 港湾用地の拡充



(2) 鳥取港の空間利用について

各種アンケート、背後企業、関係者の意見を参考に現在の鳥取港の施設配置を基に、「物流関連」、「生産活動」、「賑わい」、「交流」のゾーニングについて討議しました。

(委員からの主な意見)

- ・ 荷役が集中している岸壁の理由を分析し、ゾーニングに反映させてはどうか。
- ・ クルーズ船の受入体制を充実させるとともに、各観光組織、県内観光地との連携が必要である。
- ・ ゾーニングのターゲットは、観光客だけでなく、地元住民も入れるべきである。
- ・ さらに将来の港の構想を見据えた計画とする必要がある。

(3) 今後の予定

令和元年 夏頃	パブリックコメント募集
令和元年 9～10月頃	第3回検討委員会
	長期構想策定
令和2年度	港湾計画改訂

